

令和3年8月30日



相談室からのお手紙（8月号）

愛媛県立松山中央高等学校

毎日暑いですね。運動会に向けて練習を重ねている皆さんの声に元気をもらっています。コロナ禍により思うようにならないことが多い毎日ですが、二度とない今を、大切に、全身で楽しんでほしいなと思います。

皆さんは「今、自分は生きている！生きている！」という充実感、いのちへの歓喜、幸福感を味わったことはあるでしょうか。今まで考え悩み続けて気づいたこと、たどり着いた自分だけの答えや真実はあるでしょうか。

こんな話をしていると、中央高校の校歌が出てきます。この校歌は1期生の生徒たち1年生と当時の先生方が全校で詩を書き、その中にあったいい言葉やいいフレーズを選びすぐって合わせ、皆で作上げた校歌なのだそうです。

遙か向こうに石鎚が見える。南側には重信川が流れ、河原や田んぼ、麦畑の緑の上を爽やかな風が吹いている。椿神社などの歴史が息づいたこの場所に、私たちの学び舎がある。この学び舎の中で私たちはこれからどんなふうに伸びていくのだろうか。何を考えて、何を夢見て、何を育てながら私たちは成長していくのだろうか。皆で共に、これからの未来に向かって羽ばたいていこう。

そんな話を当時の教頭先生や校歌作成委員会の1人だった先輩がしてくださいました。新しい校舎で、自分たちが伝統を作っていくのだと誇り高く導いてくださった先輩方。ここで大人へと育っていく自分たちへの理想や願いが、この校歌にはあるのだと思います。「明日に向かい 今を生きる」皆さんを、優しく温かく応援してくれる歌なのだと思います。

スクールライフアドバイザー 岡本 綾

★スクールライフアドバイザー来校予定日（12：00～18：00）

8月31日（火）

9月 2日（木）・ 7日（火）・ 9日（木）・ 14（火）・ 16日（木）

★メールアドレス kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp

★生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。



「生きる」

小学6年生女子

生きているということ
いま生きているということ
水色の空を見てうれしくなること
深緑の葉を見て幸せになること
夢がかかえきれなくなること
進む道が見えること



生きているということ
今生きているということ
それは黒色 それは真夜中
それは雷 それは台風
それはクラムボン それは江戸川乱歩
昔の「きれい」が「好き」になること
進む道が変わること



生きているということ
今生きているということ
からかわれてはらがたつこと
おこられてはずかしいこと
しっばいをこうかいすること
むしをいやがること
くらいよみちをこわがること
じぶんがきれいになること
進む道が見えなくなること

生きているということ
今生きているということ
絵をかくのにも夢中になること
だれかの不幸を悲しめること
だれかの幸運をいのれること
いま いまが楽しいこと
道が見えなくなっても
あるくこと

